

年 組 名前:

バラ栽培 魅力広め30年



三枝 大悟
杉原みずき

バラの枝を切る会員11JR
甲府駅北口



県内のバラ愛好家がつくる「薔薇を愉しむ会」(功刀敏男代表)は約30年にわたり、市民向けのバラの栽培講習会や公共施設での手入れなどの活動を続けている。長年の活動が評価され、本年度のボランティア功労団体として厚生労働大臣表彰を受けた。メンバーは「これからも環境美化に役立てるようにしたい」と話す。

講習や手入れ：愛好団体に大臣表彰

〈杉原みずき〉

会は1994年に発足した。会員が情報交換するほか、多くの人にバラの魅力を伝え癒やしを感じてもらおうと、市民向けの講習会も開催。甲府市内の小学校などでの栽培も手掛けてきた。

コロナ禍前までは、市内のホテルのロビー一面を会員が育てたバラで彩る展示会も開催。一部の会員は自宅の庭を一般開放している。

10年余り前からは、JR甲府駅北口に植えられたバラを管理する市民グループが行う、剪定作業や鉢植えの土の入れ替え作業にも協力。1月28日には会員9人が線路沿いのつるバラの枝を切るなどした。功刀代表は「観光の拠点となる場所。花がきれいに見られるようにしておきたい」と手を動かした。

多いときは30人余りいた会員は現在13人。コロナ禍で活動の縮小を余儀なくされたものの、会員が挿し木を交換する場を設けるなど交流を再開する予定という。

功刀代表は「バラを育てる市民や企業などが増えた。各地のバラづくりの後押しができたと思う」と活動を振り返る。表彰を受け「やってきたことが認められた。今後も地域の緑化を進めたい」と話した。

(2024年2月3日付 山梨日日新聞 18面)

問1

県内のバラ愛好家がつくる団体は、どんな活動が評価され、どのような表彰を受けましたか。

・活動:

・表彰: 団体として 表彰

問2

団体は甲府駅北口で、どのような作業に協力していますか。

.....